

令和2年7月豪雨や令和元年東日本台風など、全国各地で甚大な被害が頻発していることを踏まえ、青森市でも事前防災対策を進める必要がある。県庁所在地である青森市には、堤川水系など全15水系の二級水系があることから、それぞれの流域の特性等に応じて下記の対策を実施することにより、青森市内全域において浸水被害の軽減を図る。

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・ダム建設、河川改修
- ・樹木伐採・河道掘削
- ・既存ダムにおける事前放流
- ・土砂災害対策
- ・森林整備・治山対策
- ・雨水貯留浸透施設
- ・水田貯留
- ・下水道施設の老朽化対策、浸水対策



駒込ダム完成予想図
(堤川水系)



笹森沼(貯留施設の整備事例)
(沖館川水系)

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

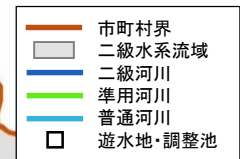
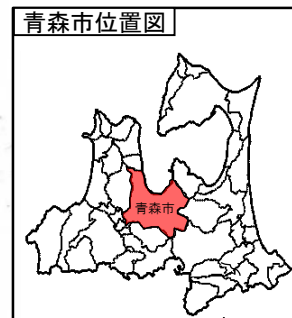
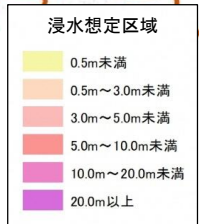
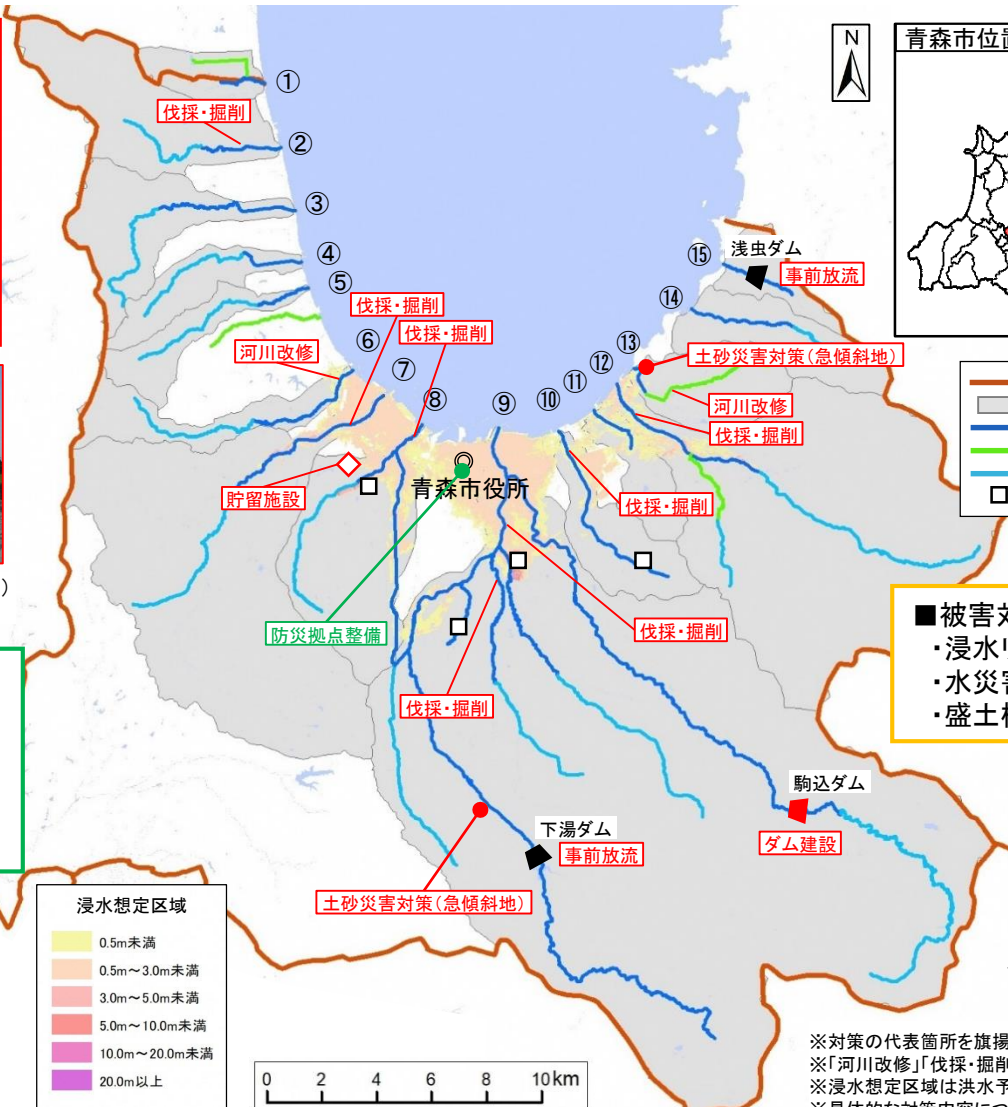
- ・防災拠点の整備
- ・円滑かつ迅速な避難のための取組
(ホットライン、タイムライン 等)
- ・被害軽減のための取組
(水防体制の強化 等)



自主防災組織を対象とした
研修会

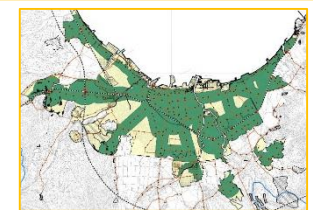


重要水防箇所合同巡視



- ① 四戸橋川水系
- ② 六枚橋川水系
- ③ 内真部川水系
- ④ 奥内川水系
- ⑤ 瀬戸子川水系
- ⑥ 天田内川水系
- ⑦ 新城川水系
- ⑧ 沖館川水系
- ⑨ 堤川水系
- ⑩ 赤川水系
- ⑪ 沼川水系
- ⑫ 野内川水系
- ⑬ 貴船川水系
- ⑭ 根井川水系
- ⑮ 浅虫川水系

- ### ■ 被害対象を減少させるための対策
- ・浸水リスクを考慮した立地適正化計画
 - ・水災害リスク情報の充実
 - ・盛土構造物の保全



青森市立地適正化計画(令和2年3月 第2回変更)
(■■■ 居住誘導区域)

※対策の代表箇所を旗揚げしている(全域で取組む対策は省略)。
 ※「河川改修」「伐採・掘削」は該当河川的位置を旗揚げしている。
 ※浸水想定区域は洪水予報河川および水位周知河川を表示している。
 ※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

青森市内を流れる15水系の流域全体を俯瞰し、県、市、関係機関等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
【短期】 実施中のダム建設や河川改修、ソフト対策等を推進。樹木伐採・河道掘削を集中的に実施。
【中長期】 ダム建設、河川改修、土砂災害対策を完了させるとともに各対策を継続実施し、地域全体の安全度向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	ダム建設	県	駒込ダム	
	河川改修	県・市	天田内川、貴船川	
	樹木伐採・河道掘削	県・市	集中実施	
	既存ダムにおける事前放流	県・市	下湯ダム、浅虫ダム	駒込ダム
	土砂災害対策	県	急傾斜地：川部区域、浦島区域	
	森林整備・治山対策	県・市・森林管理署・森林整備センター	国有林・民有林	
	雨水貯留浸透施設	県・市	実施に向けた調整・検討	
	水田貯留	県・市 等	実施に向けた調整・検討	
	下水道施設の老朽化対策・浸水対策	市	雨水ポンプ 等	
被害対象を減少させるための対策	浸水リスクを考慮した立地適正化計画	市	見直し検討	
	水災害リスク情報の充実	県	リスクマップ 等	
	盛土構造物の保全	県・市	道路盛土 等	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災拠点の整備	市	青い森セントラルパーク	
	円滑かつ迅速な避難のための取組	県・市・気象台	浸水想定区域・ハザードマップ、ホットライン・タイムライン、防災教育 等	
	被害軽減のための取組	県・市	水防体制の強化、市庁舎等の機能確保 等	

※取組期間について、【短期】は今後概ね5年、【中長期】はその後10年程度。なお、スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。